

公開ケージのコウノトリを増やしました

来園者の皆さんに近くでコウノトリをご覧いただけるよう設けてある、屋根のない公開ケージに、12月28日、新たに2羽のコウノトリを追加しました。ケージ内のコウノトリ密度を高くすることで、飼育コウノトリのエサを頼り戻ってくる放鳥コウノトリが、少しでも郷公園の外へ分散するよう促す試みです。

移動したのはJ193(1996年生れ、メス)とJ313(2001年生れ、オス)で、集団飼育に慣れたコウノトリです。公開ケージでの飼育羽数は12になりました。状況の変化を観察していきます。

特別観察会「放鳥コウノトリ」のご案内

日 程：平成20年1月19日(土) 9:00~12:00
 対象者：小学生~一般 (小学生は保護者同伴が望ましい)
 定 員：10名
 内 容：放鳥コウノトリについてのお話とフィールド観察
 集合場所：コウノトリの郷公園 管理・研究棟 セミナー室
 応募締切：平成20年1月17日(木) ただし、定員になり次第締め切ります
 保 険 料：18円
 申込方法：次の ~ を明記したハガキ・FAX・E-mail のいずれかでお申し込みください
 郵便番号・住所 氏名(ふりがな) 生年月日

「コウノトリ講座」のご案内

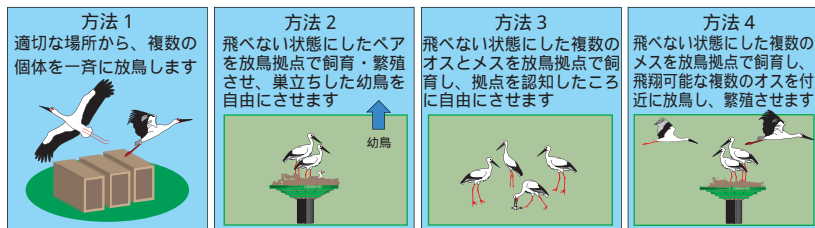
日 程：平成20年2月2日(土) 9:30~12:00
 定 員：30名
 内 容：講義「コウノトリの生態と行動、絶滅の経緯、保護・増殖の経緯、野生復帰に向けた取組、放鳥コウノトリの行動」
 フィールド観察
 集合場所：コウノトリの郷公園 管理・研究棟 セミナー室
 参加費：無料
 申込方法：平成20年2月1日までに、コウノトリの郷公園まで電話でお申し込みください

コウノトリの羽数(2007.12.31現在)

放鳥拠点にいるコウノトリは「飼育下」にいるものとし、放鳥拠点から解放もしくは巣立ちをした際に「放鳥コウノトリ」として数えることにします。
 したがって、現在三木放鳥拠点にいる親鳥は「飼育コウノトリ」として数え、繁殖行動が無事に進展した場合、幼鳥は巣立ちをもって「野外にいるコウノトリ」として数えることとします。

飼育コウノトリの羽数

	オス	メス	合計
コウノトリの郷公園	29	36	65
コウノトリ保護増殖センター	15	16	31
三木放鳥拠点(方法2: H19.9.30着手)	1	1	2
	45	53	98



野外にいるコウノトリの羽数

実施年度	放鳥方法	放鳥実績/野外での繁殖			回収/収容		死亡		備考	野外現存数
		放鳥、着手、または巣立ちした日	オス	メス	合計	オス	メス	オス		
平成17年度	方法1	平成17年9月24日放鳥	2	3	5			1	J0232死亡 ペア不成立のため回収	4
	方法4	平成17年9月30日着手	2	2	2		2			
平成18年度	方法2	平成18年7月14日、21日巣立ち	1	1	2					2
平成18年度	方法1	平成18年9月23日放鳥	1	2	3					3
	方法3	平成18年9月24日放鳥	2	2	4					4
平成19年度		平成19年5月19日野外で孵化		1	1				平成19年7月31日巣立ち	1
	方法1	平成19年9月22日放鳥	2	1	3					3
	方法3	平成19年9月23日放鳥	1	1	2					2
合計			9	13	22	0	2	1		19

問い合わせ先
 兵庫県立コウノトリの郷公園
 〒668-0814 豊岡市祥雲寺字2ヶ谷128番地
 TEL: 0796-23-5666
 FAX: 0796-23-6538

E-mail : kounotori@stork.u-hyogo.ac.jp
 URL : http://www.stork.u-hyogo.ac.jp
 開園時間：9:00~17:00
 休園日：毎週月曜日(休日に当たるときはその翌日)
 リサイクルペーパーを使用

いきもの通信 No.125

2版
 兵庫県立コウノトリの郷公園
 Hyogo Prefectural Homeland for the Oriental White Stork
 2008.1.5発行

冬のある日のコウノトリ

平成17年から3度にわたって行った試験放鳥により、そして、放鳥コウノトリのつがいから生まれたヒナが昨年7月に巣立ち、豊岡の空を自由に飛ぶ放鳥コウノトリは、現在19羽います。今月号では、コウノトリの郷公園の外で見かけたコウノトリたちのようすをお伝えします。

幼鳥つよし!

昨年7月に巣立ちした幼鳥J0003(2007年生れ、メス)、12月も親鳥のJ0228(1998年生れ、メス)やJ0275(2000年生れ、オス)と一緒に多くの時間を過ごしていました。ところが、J0228に刃向かう場面がしばしば観察されるようになってきました。

12月8日にコウノトリファンクラブによってフナが放流された豊岡市河谷の冬期湛水田で、4日後、親子3羽が仲良くエサを探していました。すると、それぞれ下を向いて歩いてきたJ0003とJ0228が鉢合わせしたのです。顔を上げた2羽(写真1)は、羽を広げてバランスをとるかのよう互いに相手を威嚇しましたが、なんとJ0003の方がクラッタリング(注1、写真2)して、J0228をさらに威嚇したのです。面食らったJ0228は、身をかわして進路をJ0003に譲りました(写真3~5)。

まるで人の子の反抗期を思い起こさせるような行動でしたが、J0228はさして気に留める風でもなく、直後の反応も落ち着いていました。注1:上下のくちばしをカスタンネットのように打ちあわせ、カタカタと音を出すこと。愛情表現や威嚇などのコミュニケーション。



写真1-5 J0003(奥)がJ0228(手前)に刃向かうようす

追いかけっこ

いきもの通信No.123・124でもお伝えしてきたJ0381によるJ0391への嫌がらせはまだ続いており、J0391が近くへ寄り過ぎると追いかけ、追い払っています。今回はただ追いかけるだけでなく、飛びながらクラッタリングまでしていました。この2枚の写真、よく見ると後ろのコウノトリの口が開いているのですが、おわかりですか?



写真6・7 J0391を追いかけるJ0381